

日本臨床教育学会 第11回研究大会 総会記録

2021年10月3日 9時30分～10時25分

議長団の選出

事務局推薦の大口久克会員と北浦貴之会員が選出された。

出席人数は43名

会員の過半数を満たさなかったため、学会会則第8条第2項により仮総会として実施されることとなった。

大会校である東大阪大学から、吉岡眞知子（第11回大会 副実行委員長）の挨拶があった。

学会を代表して、庄井良信（日本臨床教育学会会長）の挨拶があった。

報告事項

（1）機関誌編集委員会から

山内清郎編集委員会委員長より、以下の点について報告があった

・第10巻編集委員は、上田孝俊会員、氏家靖浩会員、楠凡之会員、土永葉子会員、本田伊克会員、山内清郎会員が担当することとなった。

・発行済みの第9巻には15本の論文投稿があり、うち5本が「掲載可」となった。特集テーマに関する依頼論文は4本であった。

・編集中の第10巻の特集テーマは「コロナ時代の教育日常の記憶と記録」とする。

・第10巻には18本の論文投稿があった。審査は10月末に終え、再査読を求める場合は、11月末日に修正稿の提出を予定している。修正稿の審査は1月初旬に通知の予定。

（2）その他の報告事項はなし

審議事項

（1）会則の一部改正案

渡邊由之事務局長より、理事の定数増に関する会則と役員選挙規程の一部改正について、議案書に基づいて提案され、原案通り承認された。

（2）2020年度活動報告

渡邊由之事務局長より、2020年度の活動報告について、議案書に基づいて報告され、原案通り承認された。

（3）2020年度決算

山内弘美事務局幹事より、2020年度の決算案について、議案書に基づいて報告され、原案通り承認された。

（4）2020年度監査報告

監査の根本順子会員より、監査報告書に基づき「適切な会計業務のもとに学会運営が行われていること」が報告され、承認された。

(5) 2021年度研究活動方針

渡邊由之事務局長より、2021年度の研究活動方針案が議案に基づいて提案され、原案通り承認された。

(6) 2021年度予算及び2022年度予算

山内弘美事務局幹事より、2021年度の補正予算案及び2022年度の予算案について、議案書に基づいて報告され、原案通り承認された。

(7) 第12回研究大会開催校について

春日井敏之理事より、第12回研究大会は立命館大学朱雀キャンパスにおいて、2022年10月1日(土)・2日(日)を予定していること、対面開催、対面・オンラインのハイブリッド開催、またはオンライン開催のいずれかを社会状況をみながら判断するとの報告がされ、承認された。

(7) その他の報告事項はなかった。

会の終わりにおいて、田中弘美会員より、会員の学ぶ機会・学びあう機会の充実に関する意見が寄せられた。それを受け、渡邊由之事務局長よりオンラインなどを活用した公開研究会等の可能性を探る旨、返答があった。

また、間宮正幸会員より、機関誌編集委員会への意見として、北海道臨床教育学会では実践者が論文を執筆する際に「研究補助制度」を設けており、論文投稿を支えているとの意見があった。それを受け、山内清郎編集委員長より、大会時の研究発表を通じて得られる助言などを参考にして頂く可能性や、「研究補助制度」についても参考とする旨、返答があった。

議長団が解任され、総会は終了した。